

Re:綾川 総力特集！！～学校等再編2～

・学校等再編について

綾川町議会では耐震工事等の予算、調査費用の決議はされていますが、**学校再編そのものの包括的議決はこれまで一度もなされていません。**

これについては、予算を通してのだから、全て認めているという意見もあります。ただし、説明会での住民の意見を聞く限り、住民の総意としてこれを認めるなどと言うことは、とてもいえない状況です。

住民の意見を町政に届けるのが議員の役目ですので、私は現段階での統合案の施行には反対を断言します。

また、町執行部も住民説明会がスタートである旨の発言を、一部の説明会で行っています。**まだ何も決まっていません。皆さんの意見が明日の綾川町の教育を作ります。様々なご意見、良いアイデアがありましたら、ぜひお知らせ下さい。すぐに伺わせていただきます。**

私が考える問題点

・統廃合後の議論が全くされていない。方針、手法も未定。そのため、賛成の方も何のための説明会かわからなかったという感想が出ています。

・統合後の学校、保育所はほぼ間違いなく定員オーバーになり、改築、建替え、建て増しになるようですが、他の先進施設の視察や、基礎設計、現地調査の上で現場の声を取り入れた設計などは、何もなされておらず、現実的な問題として、学校等再編の答申案どおりの日程を進めると、今後、現場の声が反映されたとは言えない形になる可能性が非常に高くなる。特に二年後の保育所の統廃合は幼保一元のソフト的な研究もあり現実的に無理です。

また、土地の新規取得をしてまで広げた施設は、町の人口予想によると、10年で拡張部分については無駄になる予測となっています。現有施設の有効活用を検討すべきだと私は結論します。

・人口対策など、十分な行政側の努力が感じられない。町営建設が予算的に難しいなら民間活用を行うべきです。

・現段階で非正規職員の率が高く、特に保育所などは正規職員が半分もいない状態。これを改善するための統合とのことです。しかしながら、将来における検討課題ということで、現在のところ正規職員増員の具体的計画がありません。

私の方針

現段階での説明できない、あいまいな根拠に基づく答申案を元にした執行部案に賛同はできません。つまり、今の状況では、学校等再編整備に反対します。

また、統合の検討は将来的に必要ですが、現時点では時期尚早です。

今必要なのは、どのようにして地域施設である学校、保育所、幼稚園を残せるかを主眼とした検討です。人員の最適化が必要であれば、空いている施設と、定員いっぱい、かなり窮屈な施設の、人員の平坦化を行えば、問題の大半は解決します。

少人数教育がクローズアップされている昨今、全世界で成功例が報告されている中、多人数教育にこだわる理由がわかりません。**綾川町の教育そのものが今議論されています。**ぜひ興味をお持ちいただき、様々な機会を使って、声を上げてください。よろしく願いいたします。

関連活動

・廃校舎の適正利用

教育委員会に対して、廃校舎管理の徹底を申し入れました。貸し先の団体への指導および、町による直接管理のお約束をしていただきました。先日、旧西分小学校運動場の草刈りが完了しました。教育委員会の皆様、ありがとうございました。

・人口減少対策

ワンルームマンションが足りていないなど単純な問題が多い。担当部署に伝達。学校再編の議論中にも人口問題として述べさせていただきました。

追加提案として、空き家を町で把握し、その情報を一元管理し、希望者に提供する。インターネット網の整備が決定しているため、若年層への訴求力は以前より格段に増している。理解できないかもしれないが、ネットさえ使えば、田舎でも問題ないという人は意外と多い。また、香川県の場合、田舎といえど、いわゆる街まで30分程度で到達できるため、田舎暮らしとしては理想的環境である。このことをPRすれば、かなりの競争力を期待できる。